

# 患者の皆様へ

2022年4月20日

薬剤部

現在、薬剤部ではタンパクと結合していない薬物の割合がどのように変動するかを予測する方法を開発する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2021年10月～2025年1月に当院で血液中の薬物濃度を測定することが可能な薬物を投与されている患者さんを対象として、診療情報や診療に用いた採血の残液などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

## 1. 研究課題名

「薬物の血中遊離型濃度予測法の検討」

## 2. 研究の意義・目的

「タンパクと結合していない血液中の薬物の割合がどのように変動するかを予測することで薬物の体の中での動きや効き方の変化を予測し、安全で有効な薬物療法を実現すること」

## 3. 研究の方法

診療に用いた採血の残液を用いてタンパクと結合していない薬物の濃度を測定し、タンパクと結合していない薬物の割合を計算します。その割合がアルブミンなどの血液成分とどのような関係性があるかを調べて、タンパクと結合していない薬物の割合がどのように変動するかを予測する方法を開発します。

## 4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学医学部附属病院薬剤部の鍵のかかる保管庫で保管します。

## 5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

**研究実施機関** : 千葉大学医学部附属病院薬剤部

**本件のお問合せ先** : 医学部附属病院薬剤部

**薬剤師 石川雅之**

**043(222)7171 内線71330**